

# かすかべ KASUKABE 議会だより

2022(令和4)年8月1日発行  
発行・埼玉県春日部市議会  
編集・広報広聴委員会  
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

## 第68号



市長と市議会議員一同  
※撮影時のみマスクを外して撮影しています。



次の定例会は  
8月22日(月)開会予定です

### 主な内容

主な議案の紹介…………… 2～4 ページ  
審議結果…………… 5 ページ  
一般質問…………… 6～15 ページ  
会派構成…………… 15 ページ  
閉会中の委員会活動…………… 16 ページ

# 令和4年度一般会計補正予算

## (第1号・第2号・第3号) を可決

### 学校給食費の管理に関する

### 条例の制定を可決

### 環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた

### 学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書を可決

#### 令和4年度一般会計

#### 補正予算(第1号)を可決

補正予算の総額は、歳入歳出の総額に、それぞれ4億7259万7千円を追加し、歳入歳出それぞれ813億259万7千円とするものです。

#### ○歳入の補正内容

新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金3億2568万7千円の増および新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金1億714万円の増については、新型コロナウイルスワクチン接種事業に対し、交付されるものです。

#### ○歳出の補正内容

#### 令和4年度一般会計 補正予算(第2号)を可決

新型コロナウイルス感染症対策事業3759万5千円の増については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、自宅療養者へのパルスオキシメーターの貸与および配食サービスを実施するものです。新型コロナウイルスワクチン接種事業4億3282万7千円の増については、4回目のワクチン接種を実施するものです。

#### 【全員一致で原案可決】

補正予算の総額は、歳入歳出の総額に、それぞれ3億3605万7千円を追加し、歳

#### 令和4年度一般会計 補正予算(第3号)を可決

入歳出それぞれ816億3865万4千円とするものです。

#### ○歳入の補正内容

新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金5934万3千円の増については、生活困窮者自立支援金支給事業および職員手当に対し、交付されるものです。

#### ○歳入の補正内容

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金1億5790万円の増、外3補助金の増については、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業および職員人件費に対し、交付されるものです。

#### ○歳出の補正内容

生活困窮者自立支援金支給事業5893万8千円の増については、支援金の申請期限

が延長されたことに伴い、増額するものです。

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業2億7503万4千円の増については、低所得の子育て世帯に対し、児童一人当たり5万円の特別給付金を給付するものです。

#### 【全員一致で原案可決】

#### 令和4年度一般会計 補正予算(第3号)を可決

補正予算の総額は、歳入歳出の総額に、それぞれ6億2320万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ822億6185万6千円とするものです。

#### ○歳入の補正内容

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金6億2572万3千円の増については、国の経済対策に基づく交付金で、生活支援臨時特別給付金給付事業、外9事業に対し、交付されるものです。

#### ○歳出の補正内容

敬老会開催事業1億29万9千円の増については、75歳以上の高齢者に対し、一人当たり2千円分の商品券を支給するものです。

生活支援臨時特別給付金給付事業2億5837万7千円

の増については、令和4年度住民税のうち均等割のみを課税されている世帯に対し一世帯当たり5万円を支給するものです。

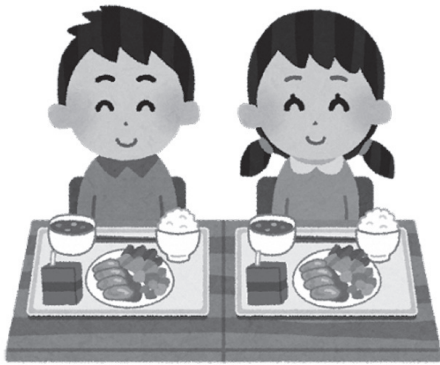
水稲経営次期作支援事業4070万円の増については、米生産者に対し、次期作付けに必要な種苗代を支援するものです。

施設園芸等燃料価格高騰対策事業1005万円の増については、原油価格等の高騰による影響を受けた施設園芸等の農業経営者に対し、燃料購入量に応じて、上限20万円の助成金を交付するものです。

ビジネスサポート応援給付金支給事業1億3852万2千円の増については、感染症の影響により、売り上げが減少した事業者に対し、一事業者当たり法人10万円、個人事業者5万円の給付金を支給するものです。

小学校給食費支援事業3030万6千円の増、中学校給食費支援事業1616万6千円の増および給食センター運営事業1031万4千円の増については、学校給食の食材料費高騰分を支援するものです。

#### 【全員一致で原案可決】



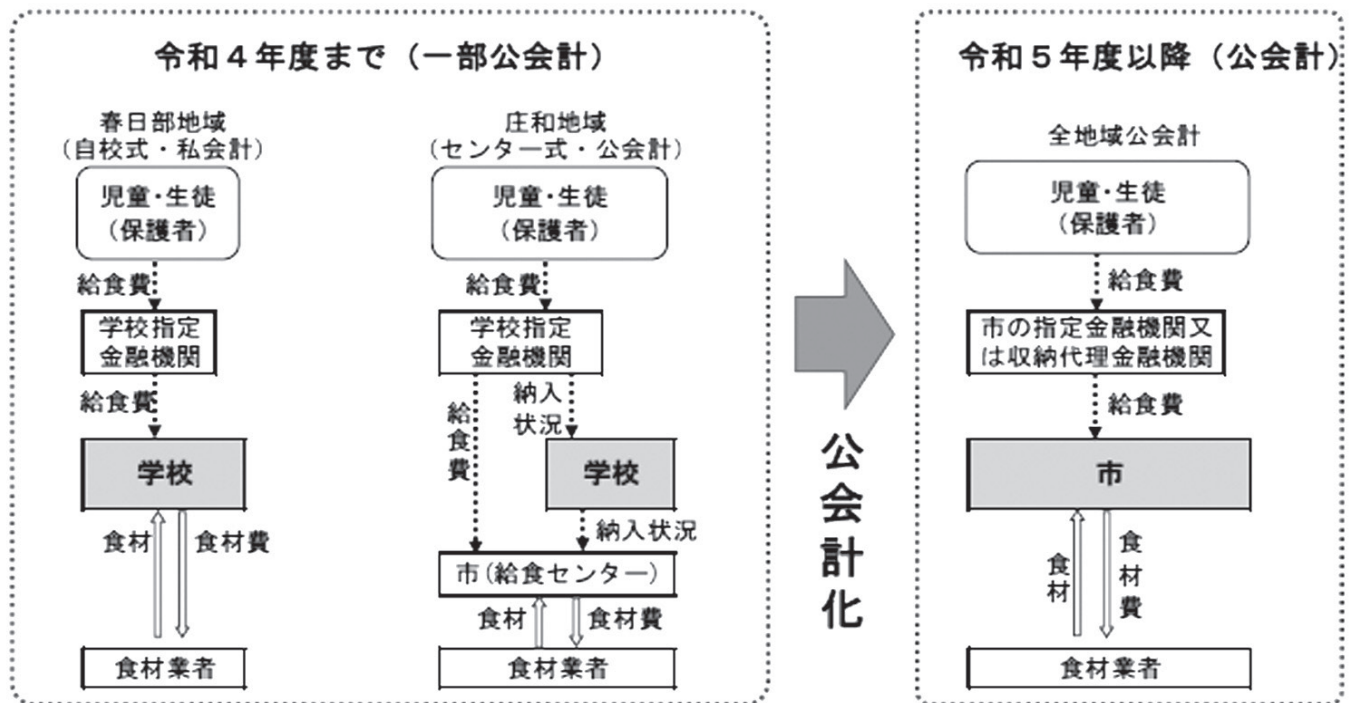
**学校給食費の管理に  
関する条例の制定を可決**

学校給食費に係る公会計制度の導入に伴い、学校給食費の管理について必要な事項を定めるため、条例を制定するものです。

【全員一致で原案可決】

※公会計化  
現在、学校が行っている学校給食費の徴収・管理を、令和5年度から、市が行う「公会計制度」に移行するものです。

**学校給食費 公会計化イメージ**



**議員提出議案**

環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書

地球温暖化や激甚化・頻発化している災害等に対し、地球規模での環境問題への取組であるSDGsや2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、さらなる取組が急務となつていますが、公共建築物の中でも大きな割合を占める学校施設の老朽化がピークを迎える中、教育環境の向上とともに、学校施設を教材として活用し児童生徒の環境教育を行う「環境を考慮した学校（エコスクール）事業」が行われてきました。

この事業は、現在「エコスクール・プラス」として、文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省が連携協力し、認定を受けた学校が施設の整備事業を実施する際に、関係各省より補助事業の優先採択などの支援を受けることができ、平成29年から今まで249校が認定を受けています。文部科学省の支援として、令和4年度からは「地域脱炭素ロードマップ（国・地方脱炭

素実現会議）」に基づく脱炭素先行地域などの学校のうち、ZEB Readyを達成する事業に対し、8%の単価加算措置の支援が行われているところだ。

文部科学省の補助としては、新増築や大規模な改築のほか、例えば、教室の窓を「二重サッシ」にする等の部分的な補助事業もあり、ある雪国の学校では電力を大幅に削減するとともに、児童生徒に快適な教育環境を整えることができました。また、太陽光発電、壁面緑化や自然採光等を取り入れた身近な教材としての学校施設を通じて、仲間とともに環境問題や環境対策を学ぶことができ、科学技術への触発となり、また、最新の技術等を学ぶ貴重な教育機会となっております。

そこで、これまで多くの事業が全国の学校施設で行われてきましたが、カーボンニュートラルの達成及び環境教育の推進を行うためには、さらに加速して事業を実施することが必要です。特に、多くの学校での実施が重要です。よって、政府におかれましては、学校施設のZEB化に関する先導的なモデルの構築

及びその横展開等の技術面及び学校施設整備に対する国庫補助としての財政面について、以下の事項に留意してさらなる推進を行うことを強く求めます。

記

1 技術面に関しては、学校施設に関するZEB化の新たな技術の開発や周知を行う。特に、新築や増築といった大規模事業だけではなくLEDや二重サッシといった部分的な省エネ改修事業も、しっかりと周知を行い、できることから取り組む自治体・学校を増やしていくことが、カーボンニュートラルの達成及び環境教育の充実につながることに留意して、周知の徹底に取り組むこと。

2 財政面に関しては、カーボンニュートラルの達成及び環境教育の充実に向けて、多くの学校が取り組むことができるよう、学校施設整備に対する事業予算額を増額すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年6月16日

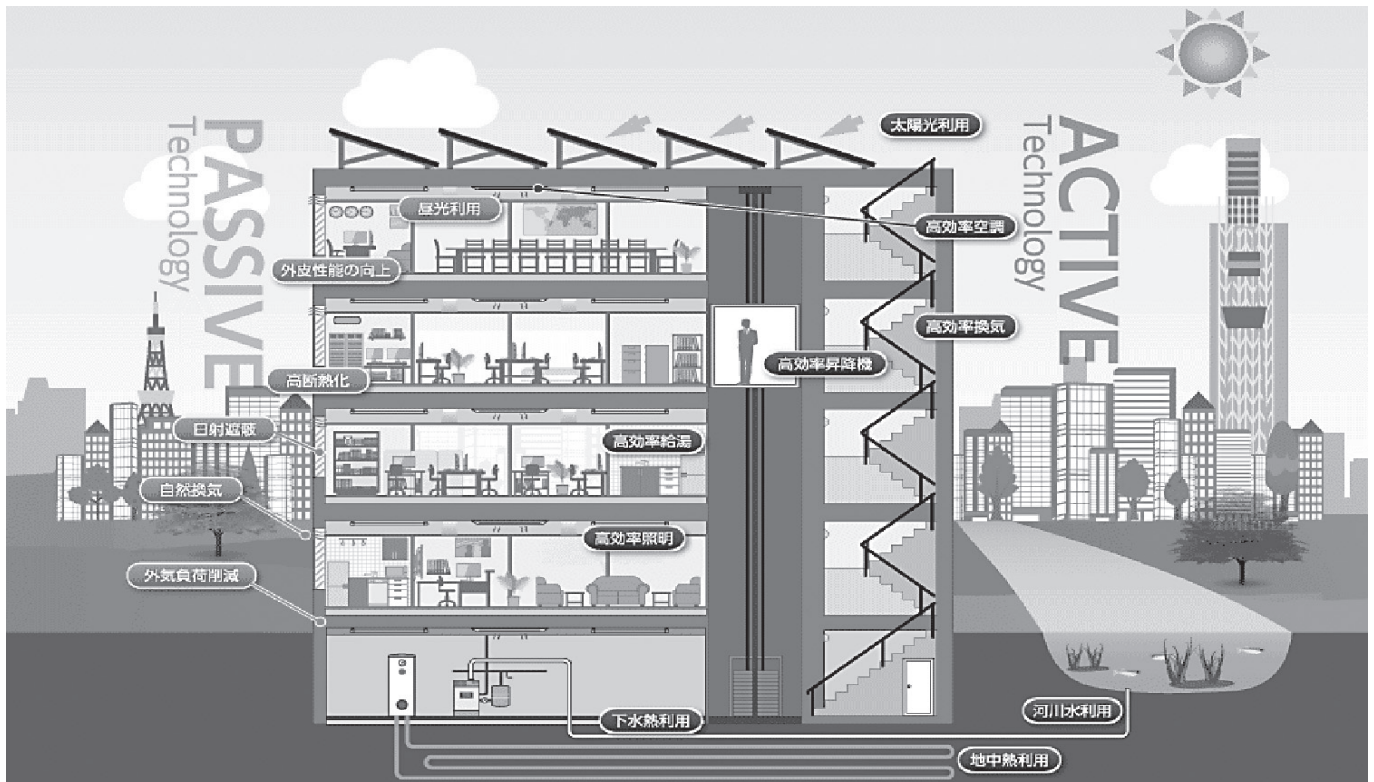
春日部市議会

衆議院議長 様  
参議院議長 様

内閣総理大臣 様  
財務大臣 様  
文部科学大臣 様  
農林水産大臣 様  
国土交通大臣 様  
環境大臣 様

【全員一致で原案可決】

- ・「カーボンニュートラル」とは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植木、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。
- ・ZEB（ゼブ）とは、Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費するエネルギーをゼロにすることを目指した建物のことです。



環境省ZEB PORTALのホームページより

太陽光や地中熱利用などを導入することや、より高い省エネ性能を実現して、建物エネルギー消費量を減らし、カーボンニュートラルの実現に向けた建物（イメージ）



詳しい内容は  
こちらから



新型コロナウイルス感染症対策特別委員会において協議を行い、原油高・物価高騰等により、市民生活に大きな影響が及んでいるため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を有効に活用し、積極的に取り組むよう、5月20日に議長、副議長および新型コロナウイルス感染症対策特別委員長、副委員長の4名で岩谷市長へ要望書を提出しました。

春日部市議会より市長への  
要望書を提出しました

## 6月定例会 審議結果

### 市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	自 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ !	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議案第 26 号	専決処分の承認を求める (税条例の一部改正) (総 務)	承 認	○	○	○	×	○	○	○
議案第 27 号	専決処分の承認を求める (都市計画税条例の一部改正) (総 務)	承 認	○	○	○	×	○	○	○
議案第 28 号	専決処分の承認を求める (固定資産評価員の選任) (総 務)	承 認	○	○	○	○	○	○	○
議案第 29 号	学校給食費の管理に関する条例の制定 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 30 号	税条例等の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 31 号	利根川栗橋流域水防事務組合規約の変更 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 32 号	クリーンセンター基幹的設備改良工事請負契約の締結 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 33 号	上沖小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 34 号	令和 4 年度一般会計補正予算 (第 1 号) (総務・厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 35 号	令和 4 年度一般会計補正予算 (第 2 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 36 号	令和 4 年度一般会計補正予算 (第 3 号) (総務・厚生福祉・教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

### 議員提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	自 無 所 属 の 会	次 世 代 か す か べ !	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議第 10 号議案	議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 11 号議案	地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議第 12 号議案	環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設の Z E B 化のさらなる推進を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 13 号議案	教員不足解消のため、定数改善など抜本的な改善を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×	×	○ <sup>1</sup> × <sup>2</sup>
議第 14 号議案	高度急性期・急性期病床削減計画の中止を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	○	×	○	○	○	○ <sup>1</sup> × <sup>2</sup>
議第 15 号議案	食料危機が迫る中、食料自給率向上のための施策を直ちに 行うことを求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	×	○	○	×	○	○ <sup>2</sup> × <sup>1</sup>
議第 16 号議案	物価高騰からくらしと営業を守る緊急対策を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×	×	○ <sup>1</sup> × <sup>2</sup>



# 一般質問

## 市民の声を市政に

※ 各議員のQRコードをスマートフォン等で読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧いただくことができます。

※ 鬼丸裕史議長は職責上（議事整理権）、監査委員の栄寛美議員は申し合わせにより一般質問は行っていません。

（文責は、各質問者）

## 一般質問に28人が登壇

これからのコロナ禍でのイベントについて



吉田 稔  
議員

5月3日、無観客にて3年ぶりに春日部大凧あげ祭りが開催されました。伝統文化・技術の継承という点で大変意味のあるお祭りとなりました。開催後にクラスタの発生も見られず、準備段階からイベント後の対応としても問題なく、無観客イベントのガイドラインとして出来上がったと感じています。そこで以下伺います。

①準備段階からお祭り当日に至るまでの工夫・対応に苦慮した点について

②今後の市内各種イベントの考え方について

○環境経済部長

①大凧の文字書きの実施に際しては、事前に参加者を把握し、文字書き当日の前後2週間の検温など体調管理を行うとともに、参加者の受付時に2回以上のワクチン接種済証の確認を行ったところで、無観客開催への対応として、

一般の方が来場しないよう、周知する看板を開催前から周辺道路へ複数設置しました。

○市長

②国、県が示す感染防止対策を基本としながらも、個々のイベントの開催目的などを踏まえ、開催の可否を判断する必要があり、一例を挙げると、重症化リスクの高い世代を対象としたイベントは、より慎重な判断が必要と考えています。今後も、できるだけ開催できるような調整を図ります。

このほか

○春日部市の職員派遣について

**春日部駅西口及び市庁舎周辺を災害に強く安心・安全に暮らせるまちに**



河井 美久  
議員

埼玉県東部地域の低地に位置する春日部市は、地形的にも低く、流れが緩やかないくつもの河川に囲まれた土地という点もあり、大雨が降ると、街なかの雨水が川に排水しきれなくなり、市内各地で道路冠水などが生じています。今度こそ、本市に首都圏外

郭放水路が完成し、市内の浸水被害は、大幅な軽減が図られてきましたが、また春日部市の玄関口となる春日部駅の西口と市の顔である市役所の周辺は、ひとたび大雨が降りますと、市役所通りをはじめ、周辺の道路も冠水し、床下浸水などの冠水被害に悩まされています。思い当たる一つとして、市役所の前を流れる会之堀川が原因と思われる。

もっと排水対策を強化しなければならぬのではないのでしょうか。これらの浸水被害を軽減するための工事の今後の予定について伺います。

○建設部長

今後の整備予定ですが、会之堀川の河川整備については、ふじ通りまでの区間については、順次、整備を進めていきたいと考えています。

安之堀川流域の整備については、安之堀川の護岸整備、F595号橋の架け替えに加え、今年度、詳細設計を実施する予定の谷原地区の雨水一時貯留施設の整備や大沼地区の雨水管きよ施設の整備についても、100ミリ安心プランの計画期間である令和7年度の完成を目標に、整備を進めていきたいと考えています。

### 市内経済活性化に住宅 リフォーム助成制度の 継続的な取り組みを



今尾 安徳  
議員



本市では、請願2回、決議一回が採択されている住宅リフォーム助成制度が、新型コロナウイルスの緊急経済対策としての住宅リフォーム助成制度として実現しました。しかし、あくまで緊急の対策であり、予算も1000万円と小規模のものとなっております。私は、市内経済活性化の起爆剤とも言われるこの同制度を、制度化をして継続的な取り組みをすることこそ、今のコロナ禍の影響や物価高騰で疲弊をしている市内を活気づけるものと思います。

そこで、緊急対策としての住宅リフォーム助成制度の現在の実施の状況と、市長には、住宅リフォーム助成制度をきちんと制度化をして、継続をしていく考えについて伺います。

#### ○環境経済部長

緊急経済・コロナ対策住宅リフォーム助成事業の実施状

況は、5月末で交付決定件数97件に対し、交付決定額が779万円となっております。

#### ○市長

住宅リフォーム助成事業は、先般国の交付金をより有効にできるように予算枠を広げたところです。今後については、新型コロナウイルス感染症の影響、市内経済の状況や社会情勢、制度設計、財源など、さまざまな状況を検証しながら適切に判断していきます。

#### このほか

○今こそ「子育てするなら春日部に」若者世代に選ばれるまちに

## 助成金



住宅リフォーム助成制度 (イメージ)

### 学校図書館について



小久保博史  
議員



学校図書館支援員は、学校図書館の運営を支え、学校図書館を利用した活動に欠かすことができない人材であることが分かりましたが、学校図書館は、校長の下、教職員が連携し、円滑な運営を図るよう努めることとされています。このことから、教職員の負担軽減の一助となる学校図書館支援員の配置の考えについてお聞かせください。

また、学校図書館の環境整備を図ることは、児童・生徒の読書活動や学習活動に必要であると考えますが、教育長には学校図書館の今後について伺います。

#### ○学校教育部長

近年では、学校図書館においても電子機器による効率的な管理が求められ、新たな負担が生じてきているところです。教職員の負担軽減を図るとともに、子どもたちによる学校図書館のより一層の利用

に向け、学校図書館支援員の必要人数については精査をしていきたいと考えています。

#### ○教育長

今後、子どもたちにとって、調べることはタブレットなどに頼ることが多くなるかもしれませんが、紙媒体の、優れた本に触れ、読書する機会を失うことがないよう努めていかなくてはならないと考えています。そのため、教育委員会としては、人的、物的環境整備について改めて検討し、学校図書館の充実に向けた取り組みを推進していきます。

### 障がい者の日常生活 支援拡充について



荒木 洋美  
議員



障がい者が社会参加しやすいまちづくりの手段としてデジタル障害者手帳があります。すでに埼玉県や交通機関など、さまざまな機会に使用可能となっております。スマホに障害者手帳の情報を登録しておけば、紙の手帳を持ち歩かなくてもよく、アプリ特有の機能

として飲食店で使えるクーポン配信や障がい者の生活に役立つ情報発信などがあるようです。全国3000以上の事業者が本人確認書類として活用しており、紙の手帳と同等の扱いをする自治体も増えています。障がい者の利便性や心理的負担の軽減などから、デジタル障害者手帳が必要と考えます。ぜひ、導入をしていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

#### ○福祉部長

デジタル障害者手帳は、令和3年4月1日時点で埼玉県が登録をしていましたが、その他県内市町の参加協力はありませんでした。また、事業者の登録は無料であるものの、電算システムの改修なども懸念され、当時、登録を見送った経緯があります。しかしながら、今後より一層障がいのある方の社会参加しやすい環境整備を進めていくため、本市でもスマートフォンアプリへの参加協力を前向きに検討していきます。

#### このほか

○子育て支援について  
○AIを活用した水道管劣化診断について

## 新本庁舎周辺の整備について



山崎 進  
議員



令和5年秋完成を目指して、新本庁舎の新築工事が進められています。完成に合わせて、会之堀川や武里内牧線の整備が進んでいます。鉄道高架事業も始まり、春日部駅周辺が大きく変わるまちづくりが進んでいるが、新本庁舎周辺の整備のこれまでの経緯と現在の状況について伺います。

また、現在の庁舎解体後、公園（中央町第一公園）の整備予定ですが、基本計画から8年ぐらいい経過し、整備するところには10年ぐらいい経過してしまおうと思うので、基本計画を見直す必要があると考えるがいかがか。さらに、この周辺は冠水被害が多発しているが、その対策が必要ではないか。

### ○建設部長

整備のこれまでの経緯と現状ですが、会之堀川の整備については、コンクリート製ボックスカルバートを敷設し、現在は立沼町会集会所付近か

ら現在の市庁舎方面への上流部分を実施しているところですが。道路整備工事は、令和3年度より、会之堀川の整備後に順次整備を実施しています。

基本計画の見直しは、鉄道高架事業および新本庁舎の着工など、市庁舎周辺の環境が大きく変わろうとしており、これらを踏まえた計画の見直しが必要と考えています。

現庁舎周辺はさらなる浸水被害の軽減に向け、一定の貯留施設は必要と考えています。

### このほか

- 農業政策について
- 春バスの考え方

## 「生理の貧困」の改善について



木下三枝子  
議員



「生理の貧困」を改善していくことを市の教育現場でしていくべき、という観点で質問します。「生理の貧困」とは、生理用品が入手しづらい経済環境・家庭環境だけでなく、「理解や知識の貧困」も含めた社会的、教育的な課題です。みんなで理解していこ

## 赤沼・銚子口地区産業基盤整備について



水沼日出夫  
議員



赤沼・銚子口地区産業基盤整備事業は、令和元年度に行政側の産業基盤整備担当創設以来、丸3年がたち、その間コロナ禍にも陥り、事業の進捗を心配する声も聞こえるようになりました。

そこで、以下お伺いします。

- ①経緯と現状②今後の方針③当該事業への市長の考え

### ○都市整備部長

①平成28年度より、新たな産業集積の可能性について県企業局と意見交換を重ねた結果、この赤沼・銚子口地区が選定され、平成30年度に可能性調査、その後、予備設計、測量および詳細設計が実施され、現在は、県企業局から示された見直し後の土地利用計画案などについて検証を行っているところです。

②今後は、それらについて、国が進める東埼玉道路との調整なども踏まえながら協議を進めるとともに、農業振興地

域農用地区域の除外に向けた農林部局との協議や市街化区域編入に向けた都市計画手続の準備を進めていきます。

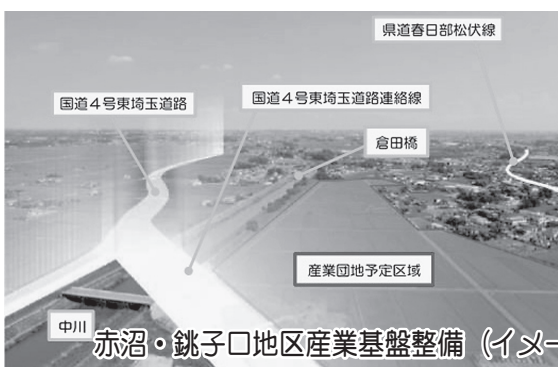
### ○市長

③当該事業は、新たな企業の立地により、雇用の創出、地域の振興に寄与する大変大切な事業で、今後においても県企業局と連携しながら、産業基盤整備事業の早期着手に向けて取り組んでいきます。

### このほか

○スポーツ施設の整備について

○豊春地区主要道路の安全性向上について



赤沼・銚子口地区産業基盤整備 (イメージ)



## グラウンド・ゴルフに つついで



金子 進  
議員



グラウンド・ゴルフは子どもから高齢者までの誰でも手軽にできるスポーツです。特に高齢者に人気が高く、高齢者の体力維持に向いているスポーツであると思います。そこで市内の活動状況と市内で利用できる施設について伺います。

また、近隣の自治体で専用グラウンド・ゴルフ場があるようですが、その状況、そして春日部市に専用グラウンドを整備する考えがあるのか伺います。

### ○社会教育部長

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、それぞれの団体の創意工夫により大会を開催したと伺っています。グラウンド・ゴルフの利用ができる市内のスポーツ施設は、大沼運動公園陸上競技場をはじめとし、10施設あり、スポーツ施設以外では、庄和総合

公園や上柳ゲートボール場などがあります。

また、近隣市における専用グラウンドは、さいたま市に1施設、熊谷市に1施設の県内2施設で、日本グラウンド・ゴルフ協会が認定した専用グラウンドとなっています。

### ○市長

専用施設の整備については、今後さまざまな要望や利用者のニーズに耳を傾け、必要性を見極めたいと考えています。

### このほか

○内牧公園及び内牧黒沼公園について

○米粉の実証実験について



グラウンド・ゴルフ (イメージ)

## 公共交通について



中村 貴彰  
議員



豊春地域、下蛭田、内牧周辺の春バスは、午前、午後の本数が少なく、外出を諦める方も多くいます。交通弱者や、足腰の不自由な高齢者の交通の利便性を向上させるためにも、一部の費用を助成したタクシーの回数券やクーポン券を活用する取り組みができないものか、と考えます。そこで、まずは試験的に、交通が不便な地域にタクシークーポン等を配布するような取り組みができないか。また、タクシー等の補助についても前向きに、協議、検討と併せて、次期第四次春バス運行計画についての市の見解を伺います。

### ○都市整備部長

タクシークーポンなどの高齢者の移動支援を公共交通だけで担っていくには限界があり、公共交通と福祉どちらかの施策だけでなく、それぞれの役割の下、両分野の施策として実施していくことが重要

であると考えています。

### ○市長

今後は春バスだけでなく、タクシー補助を含んだ春バスプラスワン実証実験をはじめとした他の公共交通機関との連携や、部局を横断した連携により、さまざまな施策を検討し、本市の実情に合った持続可能な公共交通ネットワークの形成が次期計画においても重要であると考えています。

### このほか

○こども医療費の拡充について

○重度要介護高齢者訪問理美容サービスについて



奥沢 裕介  
議員



## 線状降水帯など、激甚化する 水害に対応するための 排水対策の見直しを

偉大な先輩議員である、小島文男先生や佐藤一先生たちが

が議会で繰り返し取り上げてきている、幸松地区の水害対策について、地元の水害従事者(民間人)で構成されている「幸松地区農業施設管理組合」が、30年程前から幸松地区の東端を流れる1級河川中川に

設置されている「幸松排水機場」を管理・運用しています。

線状降水帯などによる水害の激甚化に対応することを目的に、外郭放水路に接続されている1級河川倉松川ですが、900ミリメートルの樋管に代わり、倉松川の川幅と同程度の口径の樋管を接続することは可能であるか伺います。

### ○環境経済部長

農業用排水路の倉松川への接続について、現在設置されている樋管は、土地改良事業の計画時において、事業主体である県の農林部が河川管理者である部署と協議を重ね、協議結果に基づき整備されたものです。そのため、新たに樋管の口径を見直し、設置することについては、県の総合治水事務所を確認したところ、現状の排水計画を見直すことになるため、必要性などの理由をしっかりと見極めていく必要があるとのことでした。

近年は地球温暖化をはじめとする気候変動により、世界各地で記録的な猛暑や大雨が発生しており、今後さらに自然災害のリスクが高まるとされていることから、現状を十分に把握しながら、必要に応じて県と協議をしていきます。

## パートナーシップ制度の 早期導入を



古沢 耕作  
議員



性的少数者、いわゆるLGBTQの方々の生活環境の改善につながる「パートナーシップ認証制度」の導入についてお聞きします。この制度については、本議会令和2年9月定例会において、早期導入を求める請願が、賛成多数で採択されています。

しかし残念ながら、現在も本市では、導入されておりません。それを踏まえてお聞きします。

①県内の他市町村での同制度の導入状況について伺います。  
②市長に伺います。同制度は既に全国的に広がっており、導入した他の自治体では、その内容をブラッシュアップして、さらに当事者の方々にとって使い勝手がいいもの、内容を改善している状況です。そうした中で、多様性を重視するSDGsの観点から、「誰ひとり取り残さない」と掲げている春日部市としては、

当然、この制度を早期に導入すべきと考えますが、市長の考えはいかがですか。

○総務部長

①現在、埼玉県内63市町村中、35の自治体がパートナーシップ制度を導入しています。

○市長

②さまざまな対応をしている他自治体の成果や課題を調査研究し、来年度当初の制度導入を目指してまいります。

このほか

○現市役所の跡地には、みんなに優しい公園を

○市営牛島住宅の跡地活用に関して

## 浸水対策について



木村 圭一  
議員



備後東地域の道路浸水は広大な範囲（備後東3・6・7・8丁目）にわたって、たびたび発生する道路冠水に悩まされています。そこで、この地域における浸水対策として、道路下にボックスカルバートなどの貯留施設を設けるための検討、または、地域で

貯留施設を新たに設けるための研究や計画を検討していくことはできないのか伺います。

次に、一ノ割3丁目地内の

ゴルフセンター前通りではたびたび悩まされる浸水被害で深さが80cm～90cm位となるため、非常に危険です。皆さま

からは、常設の排出設備（ポンプ）を設けてほしいとの声をいただきませんが、こうした

排出設備をつけるための計画や検討を行ってはどうか、本市の見解を伺います。

○建設部長

貯留施設については、大規模な貯留施設が必要になることと設置スペースの確保、移設費用がかかることなど、多くの課題があると認識しています。今後も地域の特性に応じた、さまざまな手法を用いた効果的な浸水対策について調査研究していきます。

常設のポンプ設置について

は、局部的に浸水被害を生じている地域における排水先の河川整備状況や下流部への影響、運用面などの課題も踏まえ必要性を検証していきます。

このほか

○市内の公園について

○防犯カメラについて

○一ノ割駅の橋上化について

## 春日部市における デジタル行政について



榛野 博  
議員



コロナ禍の影響により、社会生活が変容しています。それに伴い、国もDXを推し進めています。デジタル化は多様な幸福が実現でき、誰一人取り残さない、人に優しい社会と定義されています。本市において、この事業を進めるため、庁内からどのようなスキルや情報分野での実績の職員を考えたのか。

そして、総合政策部内の情報政策課に配置された理由は何であるのか。また、デジタル庁へ職員を派遣しているが、どのような業務内容を担当しているのか伺います。

○総合政策部長

選考は、行政手続のオンライン化に向けて必要となる窓口業務での経験が豊富な職員や庁内システムの更新業務を担当した実績を持つ職員など、3名を配置したものです。

理由については、デジタル行政の推進に当たっては、庁

内における情報システムとの連携が最も重要であり、情報システムの横断的な仕様に関する設計や庁内の調整をスムーズに行うことができる総合政策部情報政策課に職員を配置したところです。

派遣職員の現在の主な業務内容は、地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化の事務のうち、標準仕様書を策定する制度を所管する省庁への支援や基幹業務システムに係る共通事項の整備に取り組んでいるところです。

このほか

○自治会運営について



デジタル行政 (イメージ)

### 子育て世代に 選ばれるまちを目指し、 学校給食費の無償化を



並木 敏恵  
議員

日本国憲法は「義務教育は、これを無償とする」と定めています。学校給食は教育の環境ですから、本来無償であるべきです。

自治体による無償化・一部補助が広がり、春日部市でも第3子目以降無料となりました。この目的と効果について伺いたい。

格差と貧困の広がりなど、子育てが困難になる中で、学校給食は教育の一環であり、命育むもの。多子世帯に限らずお金の心配なく食べられるべきです。同時に「春日部は給食費が無償」とすることで、本気で子育てを支援してくれるまちと、子育て世代にとってまちの魅力になります。子育て世代に選ばれるまちを目指して学校給食費の無償化を進めていただきたい。

#### ○学務指導担当部長

子育て環境のさらなる充実を図るため、令和3年度から

補助を行い、多子世帯の経済的負担を軽減する効果があったものと捉えています。

#### ○市長

学校給食費の無料化は、子育て支援として有効であると認識しています。一方、各施策の優先順位や収支バランスを見極めることも重要で、今後においても学校給食費の無料化を段階的に目指すなど、若い世代を応援していきます。

#### このほか

○春日部駅の東西通行を便利に安全に

○大枝地域の安全対策について



春日部市の給食 (イメージ)

### ヤングケアラーへの 対策について



藤原 智子  
議員

ヤングケアラーとは、本来大人が担うとされている家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを日常的に行っている18歳未満の子どもとされています。その実態はさまざまです。

今年1月には全国の小学校6年生を対象に調査を実施しました。小学校6年生の15人に1人が日常的に家族の世話をしているということが分かりました。春日部市でも一定数のヤングケアラーが存在するのは間違いありません。ヤングケアラーへの支援は、重層的な問題解決が不可欠だと認識しています。市としては、どのような対応となるかお伺いします。

#### ○こども未来部長

問題の解決に当たっては、ヤングケアラーが置かれている状況が多岐にわたることが想定され、児童福祉、教育、障がい者福祉、高齢者福祉、

医療など、分野の垣根を越えた連携が不可欠と考えています。個々の家族状況に応じた、さまざまな支援の仕組みや組み合わせが重要とされ、各機関が、それぞれの担当範囲から視野を広げ、多機関の連携により、支援を行っていくことが必要と考えます。

本市においても、アンケートの分析結果を活用し、支援を必要とする家庭の状況把握と連携体制の構築に努めていきたいと考えています。

#### このほか

○小・中・義務教育学校の学校給食について

### 北春日部駅周辺地区 土地区画整理事業について



阿部 雅一  
議員

北春日部の区画整理事業は、内牧地区の表玄関を造るまちづくりとして、地域住民が大きな期待を寄せています。区画整理組合設立の申請もなされ、いよいよ本格的に事業がスタートすると伺っています。この大変注目されている区画整理事業の概要と進捗および

工事に伴う騒音、振動、安全の確保などについて、近隣住民への工事説明の開催予定について伺います。

#### ○都市整備部長

本事業においては、子育て世代などを中心に居住の誘導を図るため、住宅ゾーンとして、約1000戸の住宅の建築を予定しています。また、かえで通りの両側には商業ゾーンを配置するとともに、保育所やクリニックなどの暮らしの質向上ゾーンを配置する予定です。

施工期間は約10年を予定しており、法手続きについては、本年2月に農林調整が終了したことを受け、秋には都市計画決定を予定しています。

騒音、振動については細心の注意を払いながら進めていく必要があると考えており、事業協力者において、安全対策や振動の対策など、さまざまな検討を行っています。

近隣住民への工事説明会については、都市計画決定や組合設立の手続きを経た後、事業主体である北春日部駅周辺地区土地区画整理組合において開催する予定です。

#### このほか

○ペット避難所について

**NHKが郵送を  
郵便物についで**



酒谷 和秀  
議員

市民の皆さまのお家にNHKから「特別あて所配達郵便」という宛名の入っていない怪しい郵便物が届いたと多数の報告を聞いています。その中には受信契約書が同封されていたそうです。

なぜNHKは自分の住所を知っているのか、自分は裁判をされる可能性があるのか、契約書を送り返さなければどうなるのか、など市民の皆さまは大変不安を感じておられます。

NHK問題を専門にしている私に連絡をいただければ直ちに市民の皆さまの不安を解消することができですが、春日部市にも相談をすることができのでしょうか。担当の窓口があれば教えてください。

**○市民生活部長**  
本市では消費生活安全法に基づき春日部市消費生活センターを設置しています。消費生活センターでは、商品やサ

**春日部市内  
小・中・義務教育学校  
児童生徒の学力について**



伊藤 一洋  
議員

ービスの契約トラブルや悪質な訪問販売による被害などの消費生活全般について、国家資格を有する消費生活相談員やアドバイザーなどの資格を持つ相談員で、市役所別館3階において、月曜日から金曜日の午前10時から午後4時まで相談をお受けしています。

ほかにも日常生活における悩み事などの相談に応じるため、裁判所の調停員を経験した市民相談員による市民相談を、別館1階の市民相談室において、月曜日から金曜日の午前9時から午後4時30分までお受けしています。

春日部市の子どもたちが自ら学ぶ力を向上させるために、どのような取り組みをしているのか。また、春日部市の学力向上に向けた今後の取り組みについて伺います。

**○学務指導担当部長**  
子どもたちが自ら学ぶ力を向上させるための取り組みに

**健康観察アプリ  
導入について**



山口 剛一  
議員

本年4月、47歳にて授かりました私の息子が粕壁小学校に入学しました。祖父、父、私、そして息子の4代にわたり同じ粕壁小学校に入学しましたことは、個人的に大変うれしく、感慨深いものであります。

入学後、初めてPTAの役員に選出され、その会合の際に役員の方々から、どうしてもアプリの利用料金をPTAが負担するのか、というお話を聞かされて、今回の一般質問に取り上げました。

コロナ禍における市内小中学校での健康観察の実施状況と近隣市町の健康観察アプリの導入状況について伺います。

**○学務指導担当部長**  
コロナ禍においては、子どもたちの健康状態を、より詳しく把握する必要があり、学校では保護者が記入した健康観察カードを活用し、担任が児童生徒の健康状態を把握しています。また、児童生徒の

欠席の連絡や体調について、アプリを活用して健康観察を実施している学校もあります。

近隣市町の健康観察アプリの導入状況についてですが、東部地区14市町では公費で予算化し、健康観察アプリを導入している市町は今年度導入予定も含めて2市町です。学校ごとの判断で健康観察アプリを活用している市町は本市を含めると10市町であり、その費用は、PTA会費や学級費などで負担をしています。

このほか  
○春日部駅周辺のまちづくりについて



活用している健康観察アプリ（イメージ）

**健康観察アプリ**

- ✓ 毎日自動でお知らせ
- ✓ 体温・体調チェック
- ✓ 出席・欠席連絡
- ✓ 家族の体調不良確認

## 春バスプラスワン 事業の拡充で、 移動手段の確保を



大野とし子  
議員



6月1日より、県道西金野井春日部線以北の庄和地域において、600円のタクシー代を補助する「春バスプラスワン事業」の実証実験が始まりました。自宅と朝日バスのバス停（西親野井から農協センター前）までの間で往復利用できます。利用登録をして、タクシー利用時に補助代金を差し引いた額を払います。バスが通っていてもバス停が遠く、利用しにくい地域において、タクシー車両を活用した公共交通を取り入れたことは、移動手段の利便性向上につながると思います。今後この実証実験から何を検証し、どのように発展させていこうと考えているのでしょうか。

市長は、春バスの毎日運行を公約に掲げました。それはそれで検討していただきたいと思いますが、同時に対象者は限定したとしてもドアtoドアで利用しやすいタクシー代

補助制度を市内全域に広げてほしいと考えますが、市長の考えを伺います。

### ○都市整備部長

実証実験では、運行事業者における運用の課題や地域の意向などを総合的に検証し、今後の運行について検討していきます。

### ○市長

春バスプラスワン事業は、地域公共交通活性化協議会で検証し、地域の特性を踏まえた施策が重要と考えています。このほか

○庄和地域の拠点、庄和総合支所の充実を

## 介護者への支援について



大里 昇  
議員



私は以前に母親の介護を経験した者で、ある日、母が足のけがが原因で寝込む生活となり、脳の機能の退化によって、認知症が進み、食べ物が飲み込めなくなり、胃ろうの処置をしてから寝たきりの生活となりました。私は介護に専念するため、介護離職も経験しました。

それで、これから市民の皆さまが、さまざまな状況により、介護に関わることとなつたとき、心配や悩み、困り事があつても普段の生活が送れ、安心して暮らしていけるよう、福祉や介護サービスの拡充を切に望みますが、現在の本市の介護保険事業の現状と支給限度額の引き上げの市の考え、介護者への支援の取り組みについて伺います。

### ○健康保険部長

本市の高齢者人口の割合は、現在、ほぼ3人に1人が65歳以上となっております。今後前

期高齢者が減少し、75歳以上の後期高齢者が年々増加することが予測されており、これに伴い、介護を必要とする方が、さらに増加するものと考えています。

支給限度額は、在宅生活で必要な介護サービスの額として全国一律に定められたものとなっております。支援体制ですが、高齢者に関する総合相談窓口として市内8カ所に地域包括支援センターを設置し、家族からの相談にも適切な支援を行っています。

### このほか

○公園の有効活用について

## 春日部における 街路灯について



平沢 一博  
議員



犯罪の防止や抑制の観点からみて、安全・安心なまちづくりには、まちの明るさは非常に重要かと思えます。LED工事も完了しましたが、地域によって街路灯の設置状況が異なっており、「春日部市はまだまだ暗い」という声も聞いています。地域によって

は、子どもや女性が暗くて一人歩きは危険だと思える場所、大人の男性でも怖くて通りたくない場所もあります。そこで以下伺います。①街路灯の設置基準②国道や県道に街路灯設置の要望が来た場合の対応③私有地に設置している場合の補助の有無④防犯対策

### ○市民生活部長

①小型の道路照明灯は市街地の道路などで交通上危険な場所に、原則として電柱1本置き約60メートル間隔で設置しています。大型の道路照明灯は、夜間の交通量が多く、交通上危険な道路に設置しています②国道や県道への街路灯は市で設置できないため、所管の事務所につないでいます③私有地補助はありませんが、商工振興課において、商店街の環境整備および活性化を図るために街路灯の設置費用や電気料を補助する制度があります④地域と連携し、各家庭の玄関灯を点灯させる「一戸一灯」運動の実施、また、自主防犯活動団体と連携した啓発活動、街頭防犯カメラの設置などの対策を行っています。

このほか

○学力向上に向けて春日部市の取り組みについて

## 「春タク」のご案内

自宅からバス停(朝日バス)までのタクシー運賃を補助します。

「春バスプラスワン実証実験」(愛称「春タク」)は、庄和北部地域における公共交通へのアクセスの利便性向上を目指す実証実験です。



## 駅周辺の道路整備及び バリアフリー化について



鈴木 一利  
議員



春日部市内の駅周辺でのバリアフリー化は喫緊の課題です。市内には8つの駅があり、中には駅周辺での段差解消がされている箇所もありますが、春日部駅周辺など車椅子を利用している方またはベビーカーを利用されている方にとっては危険な段差が多いと感じています。

そこで、今後の市内各駅の周辺でのバリアフリー化の予定と特に春日部駅東口・西口のバリアフリー化への整備方法として整備時期などの整備予定を伺います。

### ○建設部長

今後の予定ですが、春日部駅、八木崎駅周辺地区については、中心市街地バリアフリー計画が策定されており、移動等円滑化促進地区を定め、地区内の一定の基準に合致する施設を生活関連施設とし、それらの施設を結ぶ経路のうち生活関連経路として選定さ

れた経路についてバリアフリー化を進める計画です。そのほかの6駅周辺も、福祉部局などと連携し、障がいのある方などのご意見を伺いながら、対策の必要な箇所を選定し、積極的に取り組んでいきます。

春日部駅周辺の整備予定については、連立事業が完成するまでの当面の対策として、すぐできる歩車道境界における段差の解消や歩道の傾斜の緩和など、駅東口・西口ともに、順次実施してまいります。

このほか  
○今後の介護保険制度について

## 公共施設の男性用トイレに サニタリーボックスを



栗原 信司  
議員



サニタリーボックスとはトイレの個室に設置された小さなごみ箱のことです。使用済みの生理用品を捨てるために一般的には女性用トイレや男女兼用トイレに設置されていますが、トランスジェンダーの方たちが男性用トイレを使用の際に使用済みの生理用品を

捨てるサニタリーボックスが男性用トイレになく、困っていたり、前立腺がんや膀胱がんが原因で尿漏れパッドが生活に欠かせない男性にとっても外出先で尿漏れパッドを捨てる場所がなくて困っているという声が、こちらにも届いています。春日部市としてもサニタリーボックスを設置すべきと思います。

### ○財務部長

市民の皆さまが利用する施設には前立腺がんなどの病気や加齢に伴って尿漏れパッドを必要とする人やトランスジェンダーの方々の利用も想定されることから、男性用トイレにもサニタリーボックスの設置が望ましいと認識しています。市民の利用頻度が高い本庁舎や公民館などのトイレに設置するとともに、その旨を明示するなど早急に対応します。今後も利用状況を見ながらトイレの環境改善に努めていきます。

### このほか

- 子宮頸がんワクチンを男性にも公費で
- 統合型校務支援システムの導入について
- 小中学校の校庭とトイレについて

## 市長と市議会議員の 関係性について



永田 飛鳳  
議員

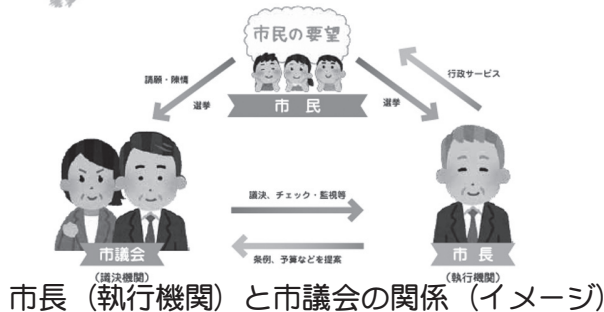


議会は二元代表制の一翼を担っており、執行機関の事務管理および執行を監視する機能を持っています。議決機関である市議会と執行機関である市長は、対等な立場に立ち、相互の均衡を図りながら、まちづくりを進めるものです。

本年4月の市議会議員選挙では岩谷市長自ら「私も応援します」と一緒に写真を撮った広報などで特定の候補者を積極的に応援されており、市民の方からも「どうして市長が応援する候補者と、しない候補者がいるの」との疑問が聞かれました。【議会は長(執行機関)と相互にけん制し合うことにより、地方自治の適切な運営を実現する】という二元代表制の原則とは異なりましたが、市長は特定の候補者を応援したことに関して、どのようにお考えか。

### ○市長

## 市と市議会について



市をよくしたいという気持ちには、私も議員の皆さまも同じであると考えています。応援の依頼のあった候補者の皆さまには、できるだけ応援をしたもので、特定の候補者を応援したわけではありません。また、私に応援の依頼をしたということは、私の考え方に共感していただけたのではないかと拝察をしています。

二元代表制の趣旨に鑑み、市議会には市の実施する事業をしつかりとチェックをしていただき、共に市民のために市政を推進していきたいと考えています。

## 南桜井駅周辺踏切の 安全性について



会田 吉幸  
議員

南桜井駅周辺の踏切は、買い物などに行く近隣住民はもとより、一部学生が通学路としても利用しており、踏切幅が狭いため、車と歩行者が錯綜して通行している場面が多く見受けられ、安全性について課題があると思います。確実な安全対策として、歩行者が安全に通行できる幅に踏切を拡幅することは可能なのでしょうか。

また、地域の安全面として、一部大型の緊急車両が通るにはかなり厳しい幅員の踏切もあり、万が一の事態となった場合の対応の遅れが懸念されます。

以上より、南桜井駅周辺踏切の現状と安全性の認識について伺います。

### ○建設部長

踏切の拡幅については、踏切の廃止、統合を基本として、踏切前後の道路拡幅を含めた計画が必要となります。駅直



南桜井駅周辺の踏切

近にある3つの踏切を統廃合して拡幅するという手法もありますが、現在はそれぞれが駅の北口と南口を結ぶ地域の皆さまの重要な踏切となっていますので、多くの課題があると考えています。

南桜井駅周辺踏切の現状については、幅員が狭く、歩行者と車両のすれ違いが困難な状況となっています。踏切内での乗用車のスムーズな交互通行が難しくなっており、安全性に課題があると認識しています。

### このほか

○交通弱者への対応について

## 市役所内組織の活性化と 人材活用について



石川 友知  
議員

岩谷市長になりました、新年度の新たな人事が発足したところかと思えます。そこで、以下伺います。①今回の人事異動では、どのような狙いがあった、また何をどう強化しようと考えて行われたのか②再任用職員が部長級として任用されることについて、いつ

制度が変わったのか、また他自治体で同様の事例はあるのか③看護専門学校は、いつ部長級の行政統括監直轄になったのか④再任用職員が同じ階級にとどまることは若い世代の昇進の可能性を奪うことになると思うが、市長に問う。

### ○総務部長

①各課の業務量や業務内容などを把握し、適切配分に努め、特に民生部門について業務量が増大しており、職員の負担軽減を図るため、体制を強化したところで、令和4年4月1日に施行したものです。再任用課長級として任用後に

再任用部長級として任用された例は確認されていませんが、再任用職員をそのまま部長級として任用している事例はあります③誤りです。新たに議員になられた皆さまに、訂正した資料を改めて配布します。

### ○市長

④組織を活性化するための一つとして、若手の積極的な登用は大変有効なものと考えています。今後も若手職員と経験豊かなベテラン職員の活用をバランスよく進め、組織の活性化を図っていきます。

### このほか

○農地の土地利用について

## 党派構成

(党派ごとの議席番号順)

### (自民・無所属の会)

6番 会田 吉幸  
7番 永田 飛鳳  
8番 榛野 博  
11番 石川 友和  
12番 水沼 日出夫  
13番 金子 進  
21番 鬼丸 裕史  
22番 山崎 進  
23番 河井 美久

### (立憲民主党)

24番 大里 昇

### (日本維新の会)

14番 平沢 一博

### (無所属)

1番 山口 剛一  
2番 酒谷 和秀  
3番 古沢 耕作

### (次世代 かすかべ!)

15番 伊藤 一洋  
16番 阿部 雅一  
17番 奥沢 裕介  
25番 吉田 稔  
26番 栄 寛美  
27番 小久保 博史

### (公明党)

18番 中村 貴彰  
19番 鈴木 一利  
20番 藤原 智子  
28番 木村 圭一  
29番 荒木 洋美  
30番 栗原 信司

### (日本共産党)

4番 大野 とし子  
5番 木下 三枝子  
9番 今尾 安徳  
10番 並木 敏恵

## 議会の傍聴について（お願い）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議会の本会議および委員会の傍聴につきましては、当面の間、できる限りお控えいただくよう、お願いしております。

本会議の審議の様子は、インターネット議会中継でもご覧いただくことができますので、ぜひご利用ください。

議会中継は市議会ホームページからどうぞ



なお、議場で傍聴される場合は、次の点にご協力をお願いいたします。

- ・受付にて体温を測定し、37.5度以上の発熱がある場合は傍聴できません
- ・マスクの着用
- ・手指消毒液の使用（傍聴受付に用意しています）
- ・他の傍聴人との距離を空けて着席



皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

### 閉会中の委員会活動

▽新型コロナウイルス感染症対策特別委員会  
5月17日

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る要望等について

・令和4年6月定例会の対応内容について

▽議会運営委員会  
5月20日

・令和4年6月定例会の運営について

▽図書室運営委員会  
6月23日

・令和4年度購入図書の申し込みについて

▽広報広聴委員会  
6月23日

・議会だより第68号について

7月5日

・議会だより第68号について

### 全国市議会議長会表彰

令和4年5月25日に開催された全国市議会議長会第98回定期総会において、次の方が表彰されました。

また、6月定例会の会期中に、表彰状ならびに記念品の伝達が行われました。

特別表彰【在職25年】

○小久保 博史 議員

### 編集後記

春日部市議会6月定例会は4月改選後初の議会になりました。改選により議会構成も新たな顔ぶれになり、広報広聴委員会も一新しました。今までも、多くの市民の方に市政情報を分かりやすく身近なものにするために取り組んでまいりましたが、改選により、本委員会構成委員は1期目の議員が担当することになりました。この委員構成を生かしながら、市民の皆さまに議会だよりを読んでいただくために、従来以上に皆さま方に寄り添った紙面作りを目指していきます。一人でも多くの方に分かりやすい市政情報をお伝えできるようにしていきます。また、お時間があれば議会へ足を運び傍聴していただき、皆さま方のご意見をお聞かせください。皆さまからいただきましたご意見を参考にさせていただきます。紙面作りを進めてまいります。

これから新本庁舎建設や駅高架化など春日部の未来を大きく変えていく事業がたくさん進められていきます。重責を担う議会と市民をつなぐ紙面作りを心掛けていきます。



### 広報広聴委員会

委員長	榛野 博
副委員長	木下三枝子
委員	会田 吉幸
委員	平沢 一博
委員	阿部 雅一
委員	奥沢 裕介
委員	中村 貴彰
委員	大里 昇
オブザーバー	
議長	鬼丸 裕史
副議長	木村 圭一

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)

内線3116